

日米投信週次概況(2024年5月22日週)

日本でETFから巨額流出！ 日銀は今？ 米国ではハイテク株ファンドに2か月ぶりの純流入！（インド株ファンドにも流入）

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部 松尾健治 (kenji-matsuo@am.mufg.jp)
窪田真美 (mami-kubota@am.mufg.jp)

- 日本では公募投信(除くETF)が年初来純流入の中、ETFから巨額流出！ 日銀は今？p.1
- 米国ではハイテク株ファンドに2か月ぶりの純流入！（インド株ファンドにも流入）.....p.3

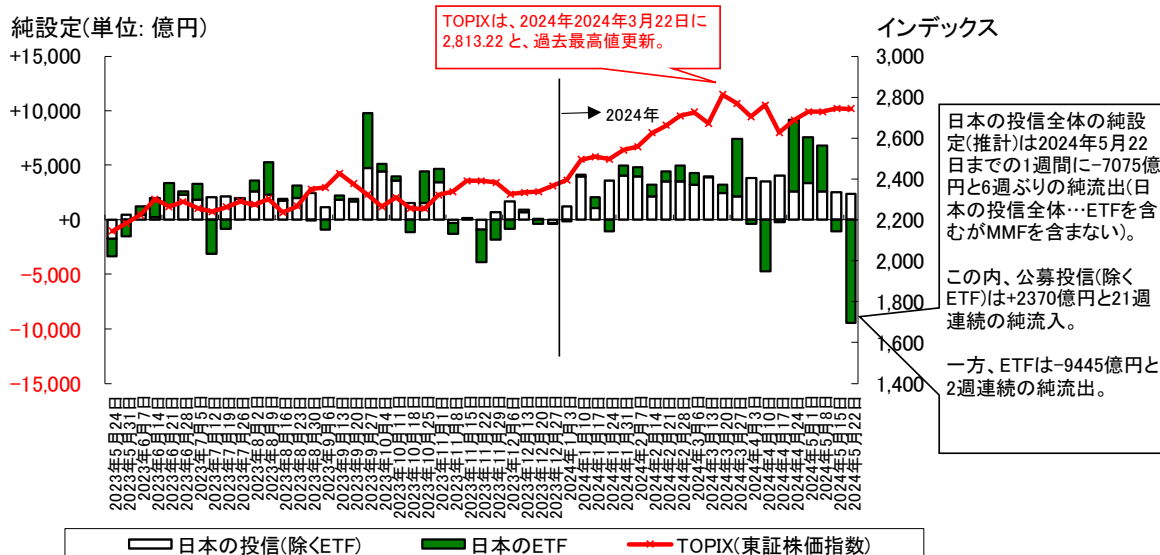
●日本では公募投信(除くETF)が年初来純流入の中、ETFから巨額流出！ 日銀は今？

日本の投信全体の純設定/資金フロー(推計)は2024年5月22日までの1週間に-7075億円と6週ぶりの純流出(日本の投信全体…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。うち**公募投信(除くETF)は+2370億円と21週連続純流入と年初来の純流入**。その中、**ETFは-9445億円と2週連続の純流出で、さらにデータを遡れる2009年5月13日週以降で最大の純流出**となった(これまでの最大は2022年7月13日週の-7137億円)。



日本の投信全体の純設定とインデックスの推移
(2023年5月24日 ～ 2024年5月22日、週次データ)

*日本の投信(含むETF)…モーニングスターの「Japan Open-end (domestic)」/「Exchange Traded Fund (Japan domestic)」
インデックス…TOPIX(東証株価指数)



(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

ETF-9445億円のうち約-6000億円は残高上位の日本株ETF3本の純流出である。グラフを見てわかる通り、2024年のETFは純流入傾向で1～4月に+1兆9185億円の純流入となっている(4月+7088億円←3月+6675億円←2月+4143億円←1月+1280億円)。特に残高上位の日本株ETF3本は2024年4月に+8208億円の純流入と、2020年4月以来の大きな純流入となっている。つまり、2024年5月22日までの1週間に-9445億円と言う巨額流出となったETFはその時の解約(交換)の可能性がある。残高上位日本株ETFというと日銀が保有しているが、日銀は2023年10月4日を最後にETFは購入していない(2023年の日銀買い入れは3回で2100億円程度)。

なお、2024年5月17日に日銀の植田総裁は、ETF処分は「時価をベース」、処分を含む今後の取り扱いには「**少し時間をかけて検討する必要**」と言う。2024年3月末の日銀保有ETF時価は約74兆円(2024年4月28日付NHK「74兆円の「埋蔵金」? どうする日銀ETF」～

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240426/110014422911000.html>、2024年4月末の簿価約37兆円…2024年5月2日付日本銀行「営業毎報告書-信託財産指数連動型上場投資信託」～ <https://www.boj.or.jp/statistics/boj/other/actual/release/2024/nc240430.htm>、2023年9月末の時価約61兆円…

2023年11月28日付日本銀行「上半期財務諸表等」～ <https://www.boj.or.jp/about/account/mst2311a.htm>、2023年9月末のETFの日銀保有ETF比率は約83%となっている(2024年2月13日

付日本版ISAの道 その396「ファンドラップで新NISAやiDeCo/イデコ? 英国ではラップISA&SIPP、ラップ・プラットフォーム! ~英資産運用最大手も変革する消費者(リテール顧客)義務規制～」～ https://www.asi.co.jp/report/investigate/colomn_240213.pdf)o

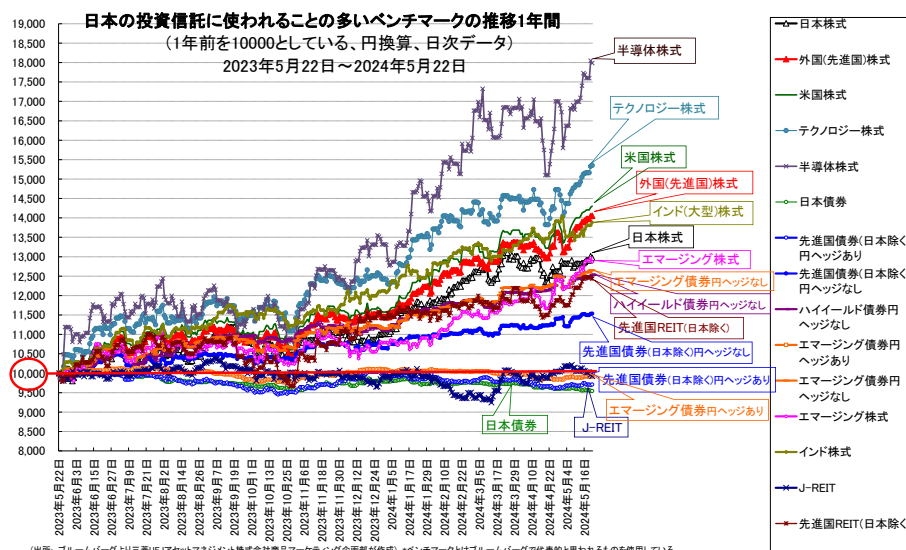
年始から純流入が続く公募投信(除くETF)について最新5月22日週の純設定額を分類別に見る。純流入1～5位は**北米株、グローバル株、グローバル債-日本を除く-円ヘッジ、インド株、グローバル株-日本を除く**。米国株式や全世界株式の人気は引き続きNISA/少額投資非課税制度が大きな買い材料となっている。

● 日本の投信の分類別週間純流出(純流入の大きい順) 2024-05-22現在
*ETF・MMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万円)	純流入 前週 (百万円)	純流入 4週計 (百万円)	純資産 (百万円)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
1	North America Equity	+109,424	+126,550	+444,570	18,006,311	北米株
2	World Equity	+84,936	+85,333	+336,688	15,881,126	グローバル株
3	World ex-Japan Bond - JPY Hedged	+41,333	+1,058	+38,390	1,500,630	グローバル債-日本を除く-円ヘッジ
4	India Equity	+35,320	+40,982	+131,992	2,972,024	インド株
5	World ex-Japan Equity	+33,323	+13,087	+67,269	10,838,470	グローバル株-日本を除く
6	Emerging Multiple Country/Area Equity	+11,964	+4,737	+33,191	1,321,746	エマージング株-複数国/地域
7	Japan Large-Cap Value Equity	+10,330	+11,206	+46,603	1,340,287	日本株大型バリュー
8	World Bond	+9,277	+5,855	+23,088	1,720,364	グローバル債
9	Conservative Allocation	+8,242	+1,665	+18,005	2,267,459	コンサバティブ・アセットアロケーション
10	Moderately Aggressive Allocation	+6,480	-1,670	+23,362	4,194,457	モデレート・アグレッシブ・アセットアロケーション
88	World Bond - JPY Hedged	-3,738	+2,485	-6,528	1,693,278	グローバル債-円ヘッジ
89	Other Allocation	-4,460	-3,310	-9,616	759,443	その他アロケーション
90	World Equity - JPY Hedged	-4,888	-6,453	-16,939	674,189	グローバル株-円ヘッジ
91	North America Equity - JPY Hedged	-5,414	-4,938	-16,927	716,944	北米株-円ヘッジ
92	US REIT	-6,519	-2,945	-6,028	2,359,292	米国REIT
93	Alt-Multistrategy	-6,865	+3,145	-1,024	787,244	オルタナティブ・マルチストラテジー
94	Moderate Allocation	-9,814	-14,486	-10,802	3,337,334	モデレート・アセットアロケーション
95	Trading - Leveraged/Inverse Equity	-14,219	+1,208	-14,897	675,218	トレーディング-レバレッジド/インバース株
96	Japan Large-Cap Growth Equity	-18,165	+12,877	+10,434	5,913,158	日本株大型グロース
97	World Specialty Equity	-38,779	-39,290	-85,278	12,097,342	グローバル・特定テーマ/セクター株
全97分類の合計		+236,994	+253,854	+1,089,202	126,077,300	
指数名		リターン※ 最新週 (%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		+0.24	+0.90	+0.99		
S&P500		+0.02	+2.39	+4.78		
MSCI ワールド		-0.11	+2.37	+4.59		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

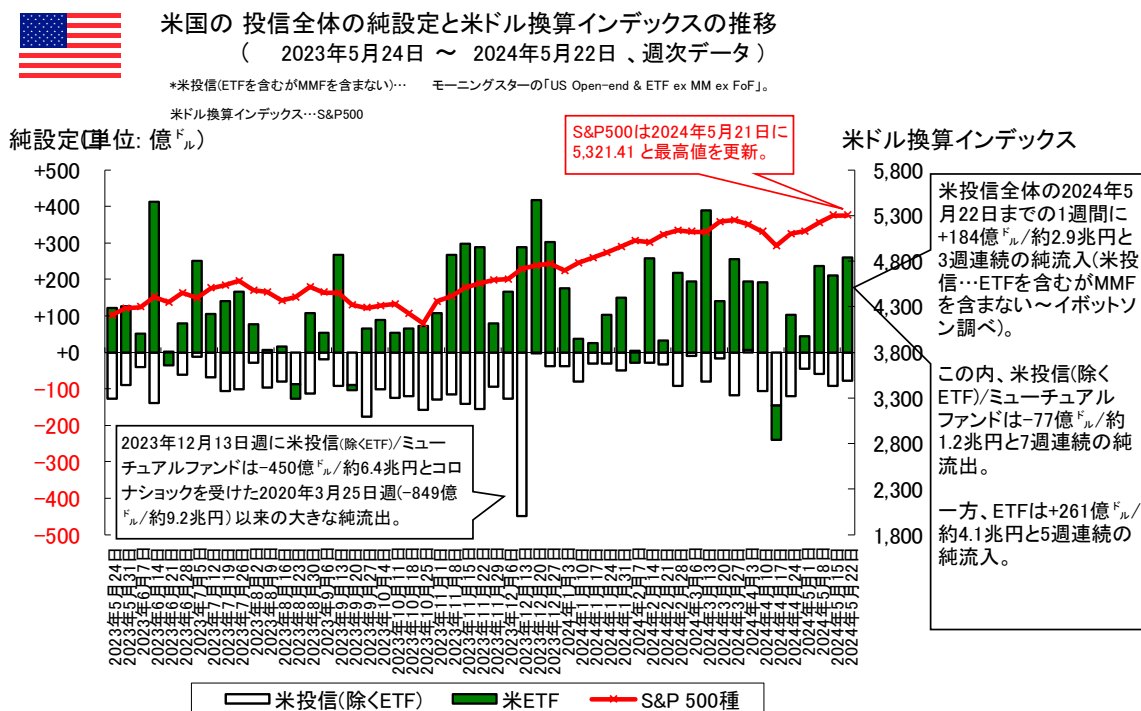
※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。



●米国ではハイテク株ファンドに2か月ぶりの純流入！（インド株ファンドにも流入）

米投信全体の純設定/資金フロー(推計)は、2024年5月22日までの1週間に+184億^{ドル}/約2.9兆円と3週連続の純流入(米投信…ETFを含むがMMFを含まない～Morningstar Directより)。 この内、**米投信(除くETF)/ミューチュアルファンドは-77億^{ドル}/約1.2兆円と7週連続の純流出。** 一方、**ETFは+261億^{ドル}/約4.1兆円と5週連続の純流入**となった(継続的なミューチュアルファンドの純

流出とETFの純流入にはミューチュアルファンドからETFへのコンバージョン/転換も寄与…2023年11月27日付日本版ISAの道 その391「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増！」～ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column_241127.pdf)o



(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

*米モーニングスターが発表する週次の純設定額(推計)は、算出時点で入手できる投信による推計であり、随時更新される(本レポートは作成時点の最新値を使用)。

2024年5月22日週の投信全体純設定額を分類別に見る。 **米国株は+85億^{ドル}、外国株は+15億^{ドル}と、それぞれ3週、4週連続の純流入。** セクター株は+15億^{ドル}と7週ぶりの純流入、コモディティは+4.9億^{ドル}と2週連続の純流入。 **債券は+63億^{ドル}と5週連続の純流入。** 総じて純流入である。

S&P500は2024年5月21日に5,321.41と最高値を更新。 **翌2024年5月22日引け後に米半導体大手エヌビディアが発表した決算は市場予想を大きく上回り、売上高と純利益は、ともに過去最高となった。**

その5月22日までの1週間の米投信(含むETF、除くMMF)純設定を、投資対象をより細かく分類別に見る。 **純流入1～3位は米国大型ブレンド株(S&P500連動など)、米国ハイイールド債、デジタル資産。** 日本籍投信で人気のインド株は+1300万^{ドル}、日本株は-2.9億^{ドル}、中国株は+6.5億^{ドル}。 インド株ファンドについては2024年5月13日付日本版ISAの道 その401「日米印株式ファンドの総経費率を日米比較！世界で人気のインド株ファンドはNISA本家英国でも人気だが、キャピタルゲイン税/CGTで総経費率が4～6%台!？」(https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column_240513.pdf)を参照。



米投信の分類別週間純流出(純流入の大きい順)

2024-05-22現在

*ETFを含むがMMFを含まない。週次推計の為、月次のものとは異なる。

順位	分類名 (Morningstar Categories)	純流入 最新週 (百万ドル)	純流入 前週 (百万ドル)	純流入 4週計 (百万ドル)	純資産 (百万ドル)	備考 (和訳は三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部)
1	Large Blend	+9,878	+8,794	+23,159	4,127,587	米国大型ブレンド株(S&P500連動など)
2	High Yield Bond	+2,419	+820	+6,334	270,722	米国ハイイールド債
3	Digital Assets	+1,385	+85	+811	78,970	デジタル資産
4	Foreign Large Blend	+1,047	+950	+2,916	990,563	外国大型ブレンド株
5	Corporate Bond	+1,042	-1,352	+30	153,622	社債
6	Intermediate Core Bond	+916	+128	+3,571	652,809	米国中長期コア債
7	Technology	+915	-889	-409	331,097	米国テクノロジー株
8	Large Growth	+832	+1,464	+3,606	2,039,955	米国大型グロース株
9	Ultrashort Bond	+769	+1,023	+5,004	306,744	米国超短期債
10	Derivative Income	+658	+389	+2,367	87,382	デリバティブ・インカム
11	China Region	+652	+428	+1,324	28,754	中国株
50	India Equity	+13	+85	+597	18,202	インド株
113	Japan Stock	-290	+306	+108	37,593	日本株
114	Global Allocation	-346	-428	-2,086	263,271	グローバル・アセットアロケーション
115	Industrials	-349	+440	+69	47,118	農業・インフラ・輸送等
116	Mid-Cap Value	-384	-619	-1,356	266,545	米国中型バリュー株
117	Moderate Allocation	-390	-286	-1,248	472,401	モデレート・アセットアロケーション(株50~70%)
118	Global Large-Stock Growth	-529	-145	-1,063	255,700	グローバル大型グロース株
119	Muni National Interm	-698	+254	+1,163	223,144	米国全米地方債
120	Trading--Leveraged Equity	-1,041	-885	-2,579	92,076	トレーディングレバレッジ株式(ブル型)
121	Mid-Cap Growth	-1,091	-500	-2,457	333,293	米国中型グロース株
122	Small Blend	-1,117	+76	-955	430,216	米国小型ブレンド株
全122分類の合計		+18,324	+11,937	+47,561	19,190,221	
指数名		リターン※ 最新週 (%)	リターン※ 前週 (%)	リターン※ 4週 (%)		
TOPIX (東証株価指数)		+0.24	+0.90	+0.99		
S&P500		+0.02	+2.39	+4.78		
MSCI ワールド		-0.11	+2.37	+4.59		

(出所: Morningstar Direct及びブルームバーグより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

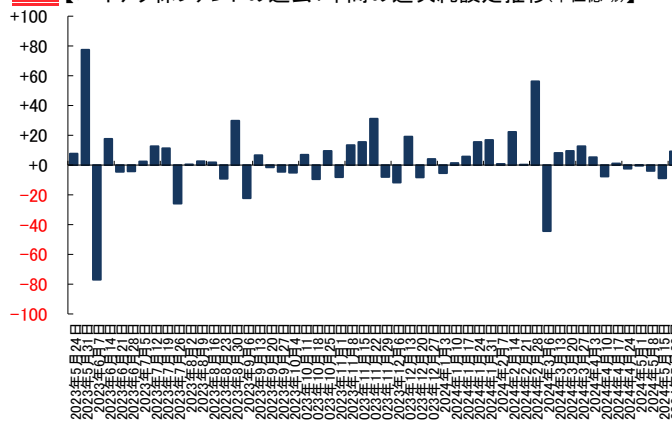
※現地通貨(MSCI ワールドは米ドル)ベース、配当込み指数。

ハイテク株ファンド(米国テクノロジー株)を見る。最新2024年5月22日週にハイテク株ファンドは+9億ドル/約1437億円と5週ぶり純流入、3月27日週(+13億ドル)以来2か月ぶりの大きな純流入で全121分類中7位(最新週+9億ドルのうち、ETFが+9億ドルと3週ぶりの純流入、米

国ではミューチュアルファンドよりETFが人気…2023年11月27日付日本版ISAの道 その391「アクティブ運用型ETFが米国を中心に世界で急増! 米国はミューチュアルファンド・コンバージョン(転換)が寄与~米国と日本のアクティブファンドとパッシブ(インデックス)ファンド~」~ https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column_241127.pdf)。

ハイテク株については2024年4月22日付日本版ISAの道 その400「世界のハイテク(半導体)株ファンド~『NISAのお手本』英ISAでハイテク株やインド株が人気! ハイテク(半導体)株やインド株にバブル・ピークやショック前に積立投資をすると…~」(https://www.am.mufg.jp/report/investigate/column_240422.pdf)を参照。

【ハイテク株ファンドの過去1年間の週次純設定推移(単位億ドル)】



(出所: Morningstar Directより三菱UFJアセットマネジメント商品マーケティング企画部が作成)

以 上

三菱UFJアセットマネジメント【投信調査コラム】日本版ISAの道(及び投信調査レポートの一部)のバックナンバー:

「 <https://www.am.mufg.jp/report/investigate/> 」。

三菱UFJアセットマネジメント株式会社 商品マーケティング企画部

松尾 健治(kenji-matsuo@am.mufg.jp)、

窪田 真美(mami1-kubota@am.mufg.jp)。

本資料に関してご留意頂きたい事項

■本資料はNISA(少額投資非課税制度)など内外の資産運用に関する情報提供のために、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■本資料中の運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆様の実質的な投資成果を示すものではありません。市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

■本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の筆者の見解です。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

■投資信託は値動きのある有価証券を投資対象としているため、当該資産の価格変動や為替相場の変動等により基準価額は変動します。従って投資元本が保証されているわけではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

■投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

本資料中で使用している指数について

■TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

■MSCI ワールド インデックスに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会